

令和5年度 浜松市立都田南小学校 学校評価報告書

1 自己評価報告

(1) 自己評価の方法について

今年度に実施された子供アンケート、教員アンケート、生活アンケート、保護者アンケートをもとに、本校の令和5年度の重点について、評価した。

(2) 結果からの考察（○成果、●課題）

- 全体的に、教職員と児童は、概ねねらいを達成している。
- 引き続き、ICTの利用や地域人材を活用した教育活動を推進する。
- いじめの未然防止、早期発見、早期対応については、概ね保護者への理解を得られている。
- 子供の学校での様子が保護者に伝わっていない。
- 自己肯定感と自己有用感をさらに高めていきたい。
- 粘り強く挑戦する力を高めていきたい

2 学校関係者評価

12月12日（火）に開催した学校運営協議会において、自己評価結果及び考察について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・子供は「いじめはいけないこと」と認識しているようだが、学校でどのように指導しているか知りたい。
- ・学習の目標に向かって取り組んでいるかどうかは保護者が判断するのは難しい。学校での様子が保護者に伝わっていないのではないかと。または、保護者に対して、この質問の仕方の検討が必要ではないか。
- ・学校での学習の様子が保護者に伝わっていないのは、学級懇談会がなく、保護者同士が繋がる機会が減ったからではないか。
- ・自己有用感については、本校だけの課題ではなく、社会的に未来に対する希望が低い傾向があるのではないかと。
- ・身近な大人がもっと褒めてあげることが大切。関わる大人が多い方が良い。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・学校で重点を置いていることや学級で取り組んでいることが伝わるように、参観会と学級懇談会、個別面談の時期を検討したい。学級懇談会は、保護者同士で話し合いができるように懇談会の形態や話題の検討をしたい。
- ・いじめ対応は、「基本方針」に則って行うが、年間行事や道徳など様々な活動を通してお互いを思いやる気持ちを育てていく。
- ・今年度のアンケートは、子供、保護者、教員が比較できるように同じ質問にしたが、保護者にとって答えにくいものがあった。来年度のアンケート作成時には、評価の主旨を踏まえ、質問の文言について十分な検討が必要。